

9月1日は「防災の日」

防災の日は、1923（大正12）年9月1日に起きた関東大震災の教訓を忘れないため、また、この時期に多い台風に対する心構えの意味も含めて1960（昭和35）年に制定されました。

ご家庭の備えをもう一度、見直してみましよう

各家庭では、いざというときに備えて避難場所の確認や非常持ち出し袋を用意しておきましょう。

阪神淡路大震災では、家具や家電類の転倒による被害も多く報告されています。不安定な家具や危険なものがないかなど、この機会にいま一度、家の内外の点検をしておきましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」を体験してみよう

大災害の発生時には、問い合わせなどの電話が爆発的に増加するため、電話がつながり難い状況になります。

NTTではこのような状況の緩和を図るため、災害時に限定して利用できる「災害用伝言ダイヤル」を提供しています。

防災週間期間中は災害用伝言ダイヤルの体験利用ができますので、お試ください。

■防災週間特別体験期間

8月30日(木)9時から9月5日(水)17時まで

■体験方法

「171」番をダイヤルすると、全国に設置された災害用伝言ダイヤルセンターにつながりますので、音声ガイダンスに従って伝言の録音・再生を行ってください。

ベトナム・フエ大学学生が西条市訪問 平成16年台風被災地などを視察



7月16日～18日の3日間、ベトナム・フエ大学の学生10名と講師2名が西条市を訪れ、農業施設や造船工場を見学したほか、平成16年の台風で被災した大保木地区などを視察しました。

フエ大学と京都大学とは環境や防災などで教育・研究の連携しており、京都大学が当市の防災事業を指導していることがきっかけで、今回の訪問となりました。

見学・視察を終えた学生たちは、最終日に西条市長を表敬訪問し、「日本の先進的な



▲訪問中は、西条市の防災事業の取り組みについての説明も行いました。

技術を取り入れ、ベトナムの役に立てたい」「災害への対応や文化など、様々な面で勉強させてもらえた」「西条市の皆さんの温かさにもふれ、今回の訪問は大変よかったです」などの感想を述べていました。

9月1日から災害流木の無料配布を実施

新たに配布場所が小松町大郷にできました

取扱期間：9月1日(土)～平成20年3月31日(月) 9時～18時

配布場所：香積寺東側の空き地（小松町大郷）
円山森林公園（黒瀬乙）

市では「台風災害を風化させない」との思いから、平成16年に発生した台風災害による流木を、9月1日(土)から無料で配布します。

配布場所は先月号でお知らせした円山森林公園のほか、小松町大郷の香積寺（こうじゃくじ）東側にある空き地でも配布します。この空き地は、地元の方のご厚意によりお貸しいただいたものです。きれいな状態で使用していただきますようお願いいたします。

流木は、市であらかじめ1本に切断していますので、ご自由にお持ち帰りください。

※流木の予約・取り置きなどの対応はできません。また、流木がなくなり次第、配布を終了いたします。

問合せ 市庁舎本館災害予防課 災害予防係 TEL0897-52-1267

